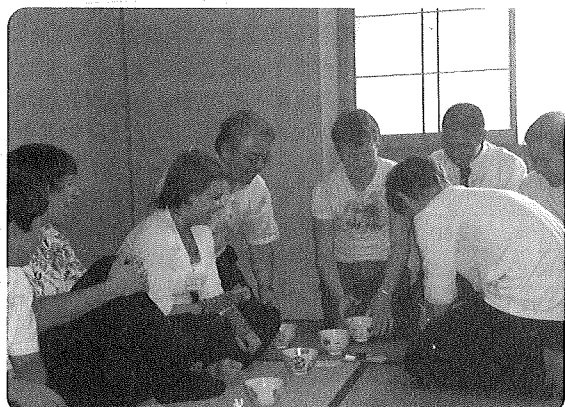




如意ヶ丘

《発行》平成21年12月8日

国際交流活動の充実



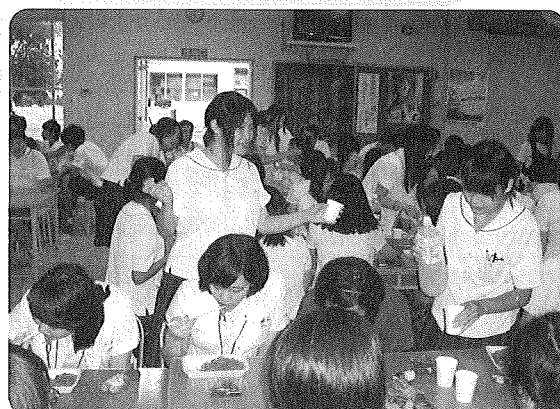
ロシアガルモニア校との交流(セミナーハウス茶室ほよ庵)



サッカー部韓国スポーツ交流(済州島)

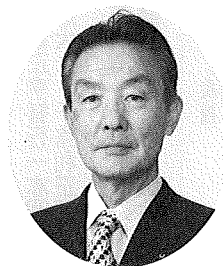


韓国清明高校スポーツ交流(第二体育館)



韓国清明高校歓迎会(本校食堂)

ごあいさつ



会長
牧 亨

11月初旬の突然の寒波により、立山連峰一面に瞬く間に冠雪が見られ、また氷見漁港では鯛の水揚げがあるなど、いよいよ北陸にも冬の到来が感じられる季節を迎えました。

会員の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

地元高岡市にとって今年は、高岡開町400年・伏木港開港110周年を迎え、一年を通してさまざまなイベントが催されました。なかでも9月13日の開町の祖・前田利長公の高岡城(古城公園)入場行列をはじめ、御車山の特別巡行、高岡駅前で行われた伏木けんか山のカッチャは、かつてない人手とともに圧巻でした。

さて、母校生徒は国際交流科として外国語の学習をはじめ、海外交流校との生徒の派遣・受

け入れによる体験学習等に積極的に取り組んでおり、着々と母校の特色ある校風づくりに邁進しております。派遣事業においては、助成金として同窓会員皆様のご支援による国際教育基金の一部を活用させていただいております。今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年秋アメリカに端を発した世界同時不況により、日本経済も低迷し、雇用問題等に深刻な影響を及ぼしています。本校卒業生の就職活動においても大変厳しい状況に直面しているのではと危惧するところです。

末筆ながら、新型インフルエンザの猛威が懸念される季節を迎えますが、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

「国際交流事業と新型インフルエンザ」



校長
豊田 久正

平成21年4月、伏木高校が育てようとする「生徒像」を、①「志高く、国際的な視野に立って行動できる生徒」、②「向上心にあふれ、自ら学習する意欲をもった生徒」、③「規範意識と相互敬愛の心をもった生徒」と定め、その育成を目指しています。これらは本校のあらゆる教育活動を通して実現されるものですが、国際交流科ではとりわけ、国際理解教育の取り組みが中核になるものと考えています。

下表は平成20年度の国際交流事業を示したものです。2年生を中心として137名の生徒が創立80周年記念事業で創設された「国際教育派遣助成基金」からの助成をいただいて、中国、韓国、

ロシア、アメリカ合衆国の友好校等を訪問し、ホームステイをしながら語学研修やスポーツ交流をすることができました。

また、環日本海諸国の友好校の生徒を中心に合計131名の海外生徒を本校に受け入れ、授業参加や本校生徒の家庭でのホームステイを通じた交流も実施することができました。これらの友好校との相互交流は、生徒が国際的な視野を広めるとともに異文化体験のなかで様々な刺激を受けて、自分のこれまでを振り返りながら生き方を考える貴重なきっかけとなっています。

国際交流科が設置されて5年目を迎える本校では、これまでの実績を振り返り整理しながら、より計画的な交流事業が実施ができるように努めていますが、海外の友好校の事情や友好校の国の行政方針などにより、計画どおりの実施ができない場合がたびたびあります。例えば、平成20年度は、日本の学習指導要領中学校社会解説書の記述に端を発した「竹島問題」で、7月に予定していた韓国友好校の来校が、予定の3日前に突然、

12月まで延期となりました。また、平成21年度は、前年末からの世界同時金融・経済不況の影響により、ロシアと伏木港の定期貨客船「ルーシー号」の運行日程が何度も変更になったことから、9月にその船を利用して来校する友好校ガルモニア校生徒の受け入れ計画は何度も作り直すことになりました。そして今、メキシコに端を発する新型インフルエンザ(豚インフルエンザ)の世界的な感染拡大によって、交流事業は大きな影響を受けています。具体的には、大連市第十二中学は日本での感染を心配して本年7月の本校訪問を中止とし、また、10月下旬からの本県並びに中国、韓国での流行により、今度は本校が、12月以降の海外派遣事業日程の変更を余儀なくされています。

このように国際交流事業は感染症をはじめ相手国の事情等に大きく影響を受けますが、教職員一同、保護者の大きな協力を得ながら、目指す生徒像の達成に向けてこれらの事態に丁寧に対応しながら、国際理解教育の推進に努力をしています。如意ヶ丘同窓会々員の皆さまには、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年度 伏木高等学校・国際交流科の国際交流事業一覧

◆派遣

	派遣事業名	派遣国	派遣人数		派遣期間	
			生徒	教員	期間	日数
1	海外語学研修(友好校:清明高等学校)	韓国	32名	2名	12/23~12/28	5泊6日
2	海外語学研修(友好校:大連市第十二中学)	中国	37名	3名	12/10~12/15	5泊6日
3	海外語学研修(友好校:ガルモニア校)	ロシア	19名	2名	3/19~3/26	7泊8日
4	海外語学研修(姉妹校:ピシヨップルアーズ校)	米国	20名	2名	3/19~3/28	9泊10日
5	AFS高校生ロシア派遣プログラム(文部科学省補助事業)	ロシア	6名	なし	1/5~1/26	21泊22日
6	サッカー部韓国スポーツ交流	韓国	23名	2名	3/15~3/20	5泊6日

◆受入れ

	受入れ事業名	受入れ国	受入れ人数		受入れ期間	
			生徒	教員	期間	日数
1	「21世紀東アジア青少年大交流計画」中国高校生短期招聘事業(外務省)	中国(上海)	45名	8名	6/15~6/16	1泊2日
2	中国・大連市第十二中学(友好校)との交流	中国(大連)	31名	4名	7/23~7/26	3泊4日
3	「21世紀東アジア青少年大交流計画」中国高校生長期招へい事業(外務省)	中国(大連)	1名	なし	2008/9/8~2009/7/31	11ヶ月
4	AFSロシア高校生受入プログラム(文部科学省補助事業)	ロシア	6名	なし	9/20~10/13	23泊24日
5	ロシア・ガルモニア校(友好校)との交流	ロシア	13名	3名	10/1~10/10	9泊10日
6	韓国・清明高等学校(友好校)との交流	韓国	35名	3名	12/9~12/14	5泊6日

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

如意ヶ丘同窓会は、7月11日(土)、16時より伏木福祉会館で開催されました。議事は、議長を兼任した牧会長によって進められ、全ての議案が満場一致で承認されました。

続いて、生徒によるアメリカでの語学研修に関する報告があり、ホームステイを通してたくましく成長している生徒の様子に、会場から盛大な拍手が送られました。

その後の懇親会は、終始和やかな雰囲気が進み、お互いに旧交を温めました。最後には、声高らかに伏木商業学校、伏木高校校歌を歌いました。



平成二十一年度 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

卒業回数	役	職	氏名
北高 3 回	顧	問	山下 和夫
北高 6 回			中尾 正治
北高 8 回			林 秀安
伏高 13 回			横田 弘二
伏高 20 回			盤石 進大
伏高 38 回	会	長	石田 久正
伏高 16 回			豊牧 元
北高 6 回			本戸 澤
伏高 10 回			山 下
伏高 15 回			山 口
伏高 18 回			山 野
伏高 21 回			山 野
伏高 23 回			宇 加
伏高 26 回			小 澤
伏高 26 回			武 田
伏高 27 回			島 田
伏高 31 回			松 嶋
伏高 34 回	宮 越		
伏高 40 回	宮 越		
北高 7 回	監	査	山本 喜一
伏高 10 回			野井 敬
北高 6 回			酒井 清
伏高 12 回	関東如意ヶ丘会長		杉
	関西支部長		

関東支部より

副会長 深原 明 (北高7回卒)

関東如意ヶ丘同窓会、第13回総会が平成21年11月14日(土)正午から、「アルカディア市ヶ谷」にて、来賓9名、会員31名合計40名の出席のもとで開催されました。

会は定刻、川善市副会長の司会進行で始まり、はじめに酒井敬司会長からは、現下の世界情勢と国内の主要課題等に触れられたあと、この会に出席いただいた来賓、会員の皆様に心を込めたお礼の挨拶がありました。

議事に入り、山岸事務局長から20年度事業報告及び21年度事業計画説明があり、それに基づく会計報告が北山雅子会計長から行われ、岸晴夫監査の監査報告をそれぞれ満場一致で承認されました。

来賓挨拶では、富山県東京事務所の新川稔所長より北陸新幹線の施工状況、6月に上映された「劔岳・点の記」の大ヒットの報告、それに続く「前人未踏の撮影」が期間限定上映されること等、郷愁をそそる情報提供を挨拶と合わせ頂戴しました。続いて昨年4月に着任の豊田久正校長から一昨年の創立80周年の支援に対し本会への謝意を述べられ、母校国際交流科の国際交流事業について詳細な説明をいただいたあと、生徒の部活動等の活動状況が丁寧に綴られたスクラップブックを頂戴いたしました。

また同窓会本部の牧亨会長からは、伏木と小矢部川を継ぐ「万葉大橋」の完成と「如意の渡船」の廃止、高岡城開城に伴う盛大なイベントの話題など地元の近況のほか、国際教育基金支援への対応についてのお話をいただき、母校発展を願って会員の共通認識を得る機会となりました。

第二部では、吉田金二常任幹事の司会で懇親会に入り、来賓と会員一同の健康と母校の発展を祈念し、今年も尺八演奏による雅楽曲「越天楽」を唱和し、高岡法科大学吉原節夫学長(北高3回卒)の発声で乾杯、歓談に入りました。恒例となった浜陽子副会長(テイチク専属)の「大漁唄い込」の名調子を皮切りに、会員のカラオケへと盛り上がり「帆柱おこし」「越中おわり」等々で踊りの輪が広がりました。全員で懐かしい学生時代の歌を唄い、校歌を元気イッパイ斉唱した後、次回の盛会と併せて母校の発展を祈念して、鶴谷副会長の力強い万歳三唱、豊田校長からの関東如意ヶ丘同窓会の今後の発展、来賓、会員の皆さんの健勝を祈念してのエール交換。郷土から送られて来た北日本、富山両新聞社の郷土の香りの情報紙を戴き、散会となりました。



関西支部より

事務局長 山岡 巖 (伏高16回卒)

10月18日(日)午前11時より、昨年開催した法善寺近くの洋風宴会場「フェローズ」で、会場の大型スクリーンに風の盆「おわらの踊り」が映し出される中、同窓会本部からは山下利一・澤武博副会長、母校からは森田慎一副校長をお迎えし、支部会員28名、総勢31名で、第13回如意ヶ丘同窓会関西支部総会が開催されました。

会は山岡事務局長の司会で始まり、冒頭、全員起立で物故者に黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。本元支部長の開会挨拶に続き、山下副会長の挨拶、森田副校長からは母校の国際交流学校としての活動報告等の挨拶を頂き、議事にうつりました。

支部長を議長に選出し、平成20年度の事業報告・収支報告・監査報告・21年度の事業計画・収支予算・役員改選が山岡事務局長・奥会計・秋元副支部長から報告があり、それぞれ満場一致で可決承認され、平成21年度の活動がスタートしました。新役員17名は、会員の親睦を更に深め、会員の拡大等、会の発展に尽くすことを決意し、総会は終了しました。

懇親会が始まるまでの休憩の間、隣の会場には高田明新幹事が昨年に続き、能楽や神楽に用いられる能面(小面・節木増・般若)狂言面(空吹・乙)を展示され、あまりの出来映えに皆、感嘆。又この1年間に当支部が催した活動スナップ写真も併せて展示されました。

懇親会は、出席者全員での記念撮影の後、鶴谷副事務局長の司会のもと、杉林新支部長の挨拶・秋常特別幹事の乾杯発声で会が始まりました。プロの女性歌手の歌を聴き、各自昔話に花を咲かせ、両副会長・副校長は各テーブルの会員と親しく語られていました。途中、同窓会本部より、関西支部への活動助成金が澤武副会長より杉林新支部長に授与され、一同拍手で謝意を表明しました。

やがて人気のとやま産争奪ジャンケン大会・カラオケ大会さらには2人目のプロの女性歌手の歌を聴き、4時間にも及んだ懇親会もやがて和やかな雰囲気の中で終幕を迎えました。BGMから流れる伏木商業学校・伏木高校の校歌に合わせ、全員が肩を組みながら、望郷と久し振りに会った旧友と酒を酌み交わ

して盛り上がった気持ちをそのままに校歌を斉唱。閉会時間も近づき、澤武副会長の挨拶と関西支部の発展を祈念して万歳三唱を全員で唱和し、秋元新特別幹事(旧支部長)による恒例の三本締め、川田新副支部長の閉会の挨拶で総会及び懇親会を全てめでたく終了しました。青春時代に想いを馳せ、お互いの健康を祝し、友情に感謝し、再会を約しました。

卒業回数	役職	氏名
商 9回	顧問	実明三
北高 1回	特別幹事	憲研陽
北高 1回	特別幹事	勝昌
北高 6回	特別幹事	豪
北高 6回	特別幹事	正誠
北高 6回	特別幹事	和美
伏高 12回	支部長	氏谷元常
北高 7回	支副支部長(兼)会計	木田林
伏高 16回	事務局長	岡谷
伏高 16回	事務局長	山岡巖
北高 7回	副事務局長	鶴山
北高 8回	副事務局長	山岡
北高 9回	副事務局長	高杉
北高 9回	副事務局長	山岡
伏高 12回	副事務局長	西
伏高 14回	副事務局長	西
伏高 20回	副事務局長	西



特集 国際交流活動

本校は平成17年4月より国際交流科に学科改編され、これまで2度卒業生を輩出しています。これに先立ち、平成15年からサッカー部韓国スポーツ交流とロシア・ウラジオストクでの語学研修が始まっており、平成18年度からは韓国水原市清明高校との相互交流が、平成19年度からは中国大連市第十二中学との相互交流が始まりました。

今回は、今年3月のサッカー部韓国スポーツ交流の様子と、9～10月のロシア・ガルモニア校受け入れの様子を紹介します。

サッカー部 韓国スポーツ交流

サッカー部韓国スポーツ交流を体験して

33H 吉田功次朗

韓国スポーツ交流は今回で二回目になります。一年生の時は、初めての海外ですべての景色が新鮮に見えましたが、今回は冷静に周りの景色が見えました。昨年は全く読めなかったハングルを今年は読むことができ、さらには現地の人とコミュニケーションをとることもできて、日ごろの学習の成果があったかなと思いました。

今年は済州島で合宿しました。とても温暖な土地で、緯度でいえば日本の九州北部くらいに位置しています。3月中旬でしたが、すでに桜が咲いていて、おかげでとても快適に過ごすことができました。この島には信号というものがなく(日本では考えられないことですが)、車も相当なスピードを出しており、日本とくらべると気ぜわしいところだなと感じました。韓国のガイドさんに、「ハハリ」という言葉を教えてもらいました。「ハハリ」というのは「早く」という意味で、「ハハリ文化」というのは「せっかち文化」ということです。韓国人は待つことが大嫌いなのだそうです。

さてサッカーの話ですが、韓国での試合は日本でやってきたことが少し通用したと思います。しかし韓国の選手はとても体が大きくて、自分たちよりも基礎技術がとても高かったです。韓国では選ばれた人しかサッカーを続けることができません。希望すればサッカーができる日本とは大きな違いです。全員がプロを目指して集中的にサッカーのトレーニングをしています。もし自分が韓国でサッカーをしていたら、続けられなかったかもしれない、今ここでサッカーができるということに感謝して取り組もうと思いました。

韓国のチームと対戦して、自分に足りない点やできた点、またメンタル的な問題もわかりました。自分のプレーをするためにはもっと練習が必要だと改めて感じるとともに、自信を持ってプレーできるようになりたいと思いました。チームとしても課題がいろいろ見つかったと思います。

この韓国遠征を通して、サッカーを含め、いろいろな経験が積まれてよかったです。今後の自分の人生につながる時間となりました。また今回のスポーツ交流のために支援して下さいました方々に感謝し、その気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。



第7回サッカー部海外スポーツ交流(韓国)

- 滞在期間:平成21年3月15日(日)～20日(金)
- 研修地:韓国済州道西帰浦(ソギポ)市(済州島)
- 参加者:サッカー部員23名(2年生15名、1年生8名)

3月15日(日)

- 10:30 出発式
- 11:45 富山空港発
- 14:00 仁川空港着 移動
- 17:30 金浦空港発
- 18:40 済州島着(済州島[泊])

3月16日(月)

- 10:00 トレーニング
- 15:00 伏木高校 0-4(前半0-2) 西帰高校(済州島[泊])

3月17日(火)

- 10:00 伏木高校 6-2(前半2-1) 西帰高校B
- 15:00 伏木高校 2-4(前半1-0) 第一高校(済州島[泊])

3月18日(水)

- 10:00 伏木高校 1-5(前半1-3) 耽羅大学
- 15:00 伏木高校 2-4(前半2-2) 中央高校(済州島[泊])

3月19日(木)

- 10:00 伏木高校 1-9(前半1-6) 耽羅大学
- 12:30 済州島観光
- 15:55 済州島発
- 17:05 金浦空港着
- 南大門市場で買い物と食事(ソウル市[泊])

3月20日(金)

- 9:00 仁川空港発
- 10:45 富山空港着 解団

三北
回 卒高 代表
山産商會
山下和夫

六北
回 卒高 代表
如意ヶ丘同窓会副会長
本元千智

八北
回 卒高 顧問
伏木海陸運送(株)
林秀治

八北
回 卒高 所長
松長一雄
松長社会保険労務士事務所

九北
回 卒高 代表取締役
東光産業(株)
布野彰一

十伏
回 卒高 代表
有日光商事
戸澤克行

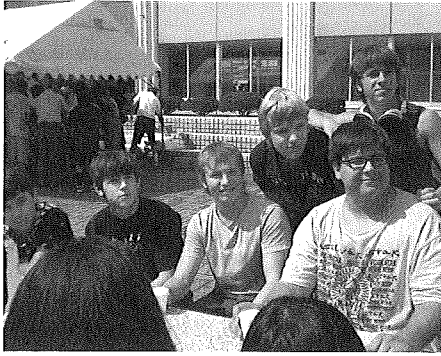
十伏
回 卒高 特別養護老人ホーム施設長
社会福祉法人 伏木会
牧野貞夫

十伏
回 卒高 代表取締役
上野宏芳
(株)ウエノ

十伏
回 卒高 代表取締役
中山勝儀
(株)フシキ住設

十伏
回 卒高 代表
静富茶園
山下利一

十伏
回 卒高 代表取締役
東光運輸(株)
牧亨



ロシア高校生の受け入れをして 22H 笠丸いつみ

私はロシア語を第二外国語として選択していますが、ロシア人のホームステイ受け入れは今回が初めてで、話しかけても通じないのではないかと、間が持たないのではないかと、とても不安でした。しかし、最初の日の夜に、ロシアのお土産をたくさんいただいて、その時にロシアのことや、写真に写っている所について聞いているうちに少しうち解けられた気がしました。料理も口に合うか心配でしたが、最初に嫌いなものを聞いたので、どれも美味しいと言って食べてくれて、とても安心しました。

休日は、折り紙やトランプをしたり、ショッピングに行ったりして過ごしました。英語も日本語も少ししか通じなかったもので、ほとんどが身ぶり手ぶりや辞書でコミュニケーションをとっていました。やはりロシア語をもっと勉強して話せるようにならなければならないと思いました。それでも折り紙を教えるとすごく真剣につくっていて、作ってあげたものは、かわいいと言って喜んでくれました。反対にトランプは、ロシアのルールを教えてもらって一緒にしました。ショッピングにいったときは、これは母に、これは友達に次々に買いこんで、帰るころにはびっくりするくらいの量になりました。それまでは少し緊張していた様子だったのですが、顔が生き生きと

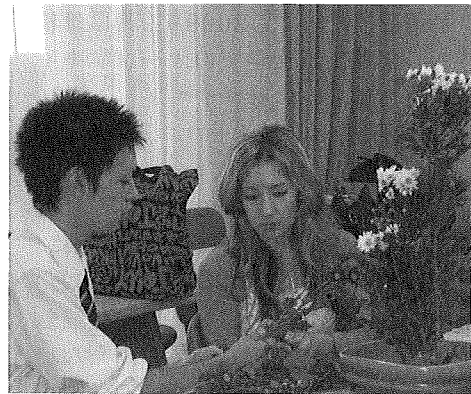
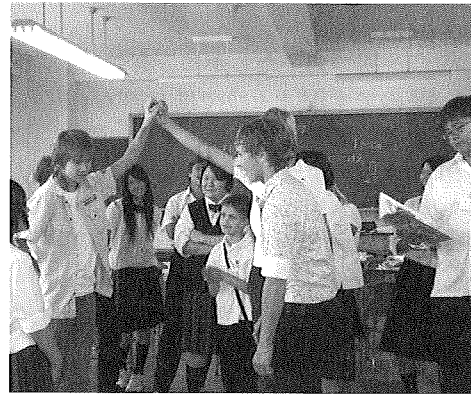
して本当に楽しそうだったので、ショッピングに誘ってよかったと思いました。

最終日には、日本のお土産を渡すと、ありがとうと言ってとても喜んでくれました。またその後、日本語で書いた手紙をもらって、とても感激しました。困ったことも多かったのですが、たくさんの思い出ができ、私にとって貴重な体験となりました。

ロシア・ガルモニア校受け入れ日程

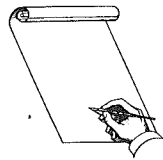
- 滞在期間:平成21年9月22日(火)～10月2日(金)
- 来校者:生徒11名、引率者3名

月日	活動内容	宿泊先
9月22日(火) 国民の休日	午前 伏木港着	ルーシー号
	午後 高岡古城公園散策	
9月23日(水) 秋分の日	午前 氷見市内観光	ルーシー号
	午後 北陸マーチングコンテスト見学	
9月24日(木)	午前 オリエンテーション、日本語講座 授業参加(体育、英語)	ルーシー号
	午後 校外活動(福岡つくりもん祭り見学)	
	9月25日(金)	
9月26日(土)	五箇山観光(そば打ち体験ほか)	ホームステイ②
9月27日(日)	PTA主催歓迎バーベキュー	ホームステイ③
9月28日(月)	午前 授業参加(ロシア語、英語)	ホームステイ④
	午後 授業参加(体育、家庭科、日本文化)	
9月29日(火)	午前 授業参加(英語、芸術)	ホームステイ⑤
	午後 校外活動(富山県立近代美術館)	
9月30日(水)	午前 授業参加(ロシア語)	ルーシー号
	午後 授業参加(ロシア語、体育)	
10月1日(木) 文化祭準備	午前 授業参加(日本文化、体育)	ルーシー号
	午後 歓迎式	
	校外活動(新湊祭礼見学、イオンショッピングモール)	
10月2日(金) 文化祭	午前 文化祭(ステージ発表、見学)	
	午後 学校出発	



十七回卒 高 神島高志 (株)神島リビング 代表取締役	十八回卒 高 山口正志 東洋通信工業(株) 代表取締役	二十二回卒 高 佐野邦明 (有)佐野本家石材工業 代表取締役	二十六回卒 高 小泉哲二 昭和運輸(有) 代表取締役	二十六回卒 高 澤武博 伏木支店 支店長	二十七回卒 高 井上人士也 井上動物病院 院長	二十七回卒 高 島田博司 島田工業(株) 取締役	三十一回卒 高 松嶋浩二 松島工業(株) 代表取締役専務	三十四回卒 高 数田昭久 (株)ローリング 代表取締役	四十回卒 高 宮越一郎 宮越工芸(株) 代表取締役
--------------------------------------	--------------------------------------	---	-------------------------------------	----------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------





坂口和 大 (伏高38回卒)

大切なもの



こんにちは、坂口和です。私は伏木高校を1986年3月に卒業して、一年浪人して千葉工業大学、現在はNTT東日本に勤務しています。高校時代は、オセロを中心に学校外での活動も多くしており、デイリースポーツ新聞でオセロの棋譜解説(1984~85年)などにも携っていました。1992年のオセロ全日本選手権優勝以降、全日本選手権で3回優勝、名人位を2回獲得しました。就職してからフルマラソンに力を入れて1995年、1996年、2001年に別府大分毎日マラソンに出場しました。フルマラソンの記録は2時間30分台で、100kmマラソンでも完走した経験があります。現在は、東京新宿区の四谷三丁目にある東京おもちゃ美術館で第4土曜日のオセロの日に坂口和がいます。平日はNTT東日本の社員としてインターネット関係の仕事をしています。休日は、6歳の長女、3歳の長男、0歳の次女と遊びますが、それ以外はオセロ多面打ちイベント、カルチャーセンターでのオセロ教室、東京おもちゃ美術館でのオセロをしています。私の高校時代は、授業が終わった夕方に海に行ったり、休日は自転車で庄川を上ってダムまで往復したりと、自然を愛するとともに、オセロ界の先輩などに人生の生き方を見ていた時代でした。

今回は、人生で大切なものをオセロ的に考えてみたいと思います。それは、オセロは4つの【角】を取れば勝てるという人がいるが、それは錯覚であるということです。オセロで四つの角を全てとっても負けることがあります。私が2005年に出版した『美学のオセロ』(碧天舎)から「4角を全部取っても勝てないこと」を示します(大半はエッセイ本です)。オセロの一番の基本指針は「角を取る」、そう、基本は「角を取ることを目指していく」のです。しかし、その一番重要な角でさえ「完全」ではありません。例えて言えば、「オセロの角」は「人間社会のお金」のようなものです。オセロの本質は「自分が角に打つこと」ではありません。表面的には「角」ですが、「オセロは、最後の盤面で石が多くすること」が目的で、4角を取ることが目的ではありません。逆に、角をとる一手が敗着になることもあります。

…四つ角…たしかに、有効に「活かして」使用できれば勝てます。しかし、上手く使えてはじめて勝てるのです。【オセロでは4つの角を取ることがすべてではない】オセロの本質は四つ角の他にあります。人生だってそう、お金、才能、性格、資質、環境、外見、能力のようなものがオセロで言えば角に相当します。高校生ならあせらなくていい、人生のロードマップやビジョンもなくっていい。今やるべきことと自分の特性を知ることによって2~3年かけてもいい。私も高校時代はオセロが好きと言うことしかありませんでした。現在では、この半年もオセロ多面打ちイベントで茨城京成、静岡パルコロフト、京王新宿、横浜そごう、丸広上尾店など、カルチャーセンターは池袋西武、渋谷東急BE、他にも2009年9月は母校の千葉工業大学でのオープンキャンパスでのオセロイベント。年3、4回発行されるオセロニュースでオセロ入門を指南しています。

伏木高校の生徒のみなさんにも「生きたいように」「なりたいように」人生を進むために「今すべきこと」をしてほしいと思います。受験勉強が社会に出てムダで役立たないことなんて優秀な16歳なら知っています。そこで言い訳せずにムダなことが出来るようになっていければ、社会に出てから、「ムダと思えることから活路を創造できる」可能性がでてきます。そして、「自分の行動で経験値を上げる」「いろいろな価値観をもつ大人の考えを聞く」ことを心がけて高校時代を楽しんでいってほしいものです。

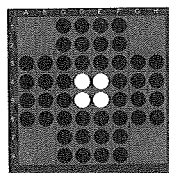


図1

【4角を取っても勝てない】

図1からお互いに最高の一手を打ち合うと、図2~図17の手順となり、その結果○46石、●18石で4角取った●が負けてしまうのである。

4角を取らせても「手得していれば」相手にパスさせることが可能になり、自分が続けて打てるので“続けて打っている時に取れる石数で勝てる”のである。

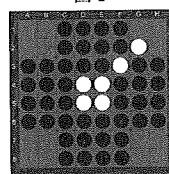


図2

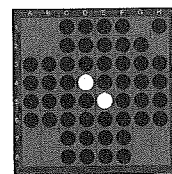


図3

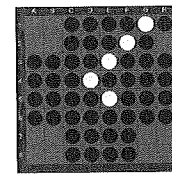


図4

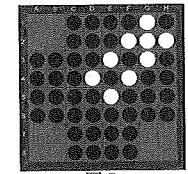


図5

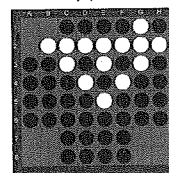


図6

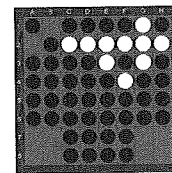


図7

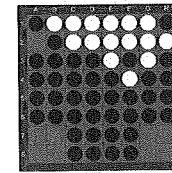


図8

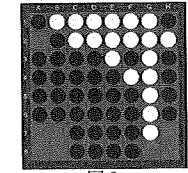


図9

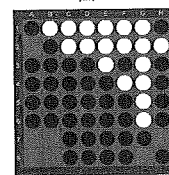


図10

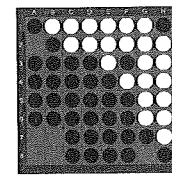


図11

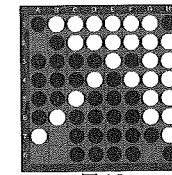


図12

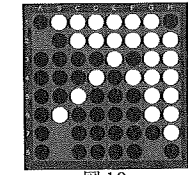


図13

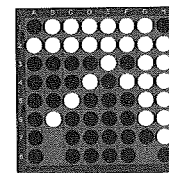


図14

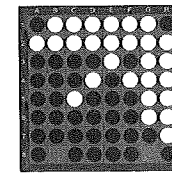


図15

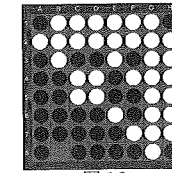


図16

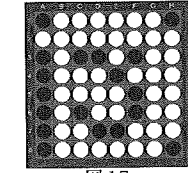
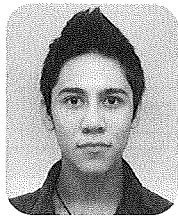


図17



外国語との出会い

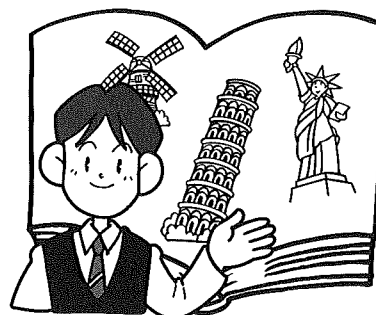
佐伯里志 (伏高61回卒)

伏木高校とって思い出すのは、もちろんロシア・韓国・中国との国際交流です。伏木高校は他のどの学校と比べても唯一とっていいほど、特別なところだと思っています。そんな学校で私はいろいろな出会いや経験をしました。私はロシア語を第二外国語として選択しましたが、ホームステイの受け入れをしたり、ロシア語などで司会をしたりすることを通じて、自分に自信を持つことができました。

私は今までたくさんの夢を抱きながら、いろいろなことにチャレンジしてきました。その中でも一番努力したのは語学でした。最初はただ世界を旅行したいという思いだけでした。それが通訳なしで一人で旅行したいと考えはじめてから、外国語をできるだけたくさん学ぼうという気持ちになりました。そんな小さな夢がどんどん膨らみ、少しずつ叶うようになってきました。振り返ってみると私の高校生活は、学校では英語・ロシア語や日本文化などを学び、家に帰ればポルトガル語を使うというものでした。頭の中ではいつも語学のことばかり考えるようになっていたのです。ですから言語への興味も日々増していきました。今ではイタリア語・フランス語やスペイン語などの外国語の曲を聴くことが一つの楽しみになっています。また私は外国語をきっかけに様々な国の人と触れあうことができました。そのお陰で語学力を磨くことができ、人とのコミュニケーションが以前より上手になったと思います。

現在、大学でスペイン語を習っています。自分の好きなことに取り組むことができ、幸せです。以前私は、何かに挑戦する前から自分にはできないわけがないと思っていました。しかしある日、大切な人が私に「失敗を恐れずいろいろなことに挑戦すれば、必ずいつか達成できる。」と言ってくれました。私はその言葉から、失敗をすることは無駄なことではなく、必要なことでもあるということ学びました。それ以来、私は失敗を土台にして人生という大きな山を登っています。ですから、後輩のみなさんにも一人ひとりが夢をもってそれに向かって突き進んでほしいと思います。

(関西外国語大学在学)



希望

坂本真希 (伏高60回卒)

振り返ってみると、私が伏木高校に入るとき成績はギリギリで、高校に合格できたことは奇跡だったと思います。そのときのうれしさから、高校ではいろいろなことをしっかり頑張ろうと思ったことを今でも覚えています。

高校では吹奏楽部に入り、パーカッションを担当しました。コンクールや演奏会に向けての練習のため、ほとんど毎日部活動があって、勉強との両立は容易ではありませんでした。自分なりに健康管理に気をつけ、学校は休まないようにし、予習・復習に取り組みました。

やがて、家族が入院したことやテレビドラマの影響もあり、看護師になりたいと夢を持つようになりました。進学先を決めるにあたって、自宅から通学できることのほか、実験やサークル活動など充実した学生生活を送りたいと思い、富山大学を目指すことにしました。それは私にとってとても高いハードルでしたが、希望は最後まで持とうと心に誓い、小さな希望を持ちつづけながら毎日毎日勉強に励みました。

倍率が高く、入試当日は緊張しましたが、日ごろ一生懸命勉強してきたことを発揮できるよう頑張りました。先生、友達、家族の支えと応援、協力があり、多くの人たちに助けられて合格することができました。周囲の方々にとっても感謝しています。

大学生活は、実習や実験など大変なことがあります。看護について専門的なことをたくさん学べ、またサークル活動で先輩や他のキャンパスの人とも交流でき、楽しく充実した日々を送っています。この夏、初めて病院実習があり、2週間という短い期間でしたが、看護師さんの仕事を身近で見たり、患者さんと話してみたりして、看護師の仕事を持つて知ることができたと同時に、やりがいのある仕事だと実感しました。



今後も伏木高校で学んだことを生かし、立派な看護師になれるよう、多くのことを学んでいきたいと思っています。すばらしい先生方、友達に出会えた伏木高校を誇りに思います。これからのさらなる活躍、発展を期待しています。(富山大学在学)

～国際交流科ならではの進路実現～

進路指導主事 高澤 真穂美

今春卒業した国際交流科の第2期生(110名)の進路状況については、国公立大4名、私立大4大47名、国公立短大4名、私立短大27名、専門学校40名、就職13名となっています。国公立大学の内訳は、富山大学(理学部、工学部、経済学部)、新潟県立大学(国際地域学部)の計4名(昨年第1期生9名)でした。

分野別では外国語・国際系で健闘を見せました。新潟県立大学(1)、関西外国語大(3)、京都外国語大(1)、神田外国語大(1)、岐阜聖徳学園大(1)、拓殖大学(1)、阪南大学(1)、明海大学(1)、岐阜市立女子短大国際文化学科(3)、富山外国語専門学校(5)、京都外国語専門学校(1)。実に合計19名が外国語・国際関係に合格しており、国際交流科ならではの進路が実現したといえます。

今年度は景気の悪化にともない就職状況も厳しいものとなり、進学面でも地元志向、安全志向が強まると予想されます。現3年生(第3期生)は、国際交流科での学習体験をいかしながら、各人の目標達成に真剣に取り組んでおります。

同窓会の皆さまには、本校生徒の進路実現のために、今後一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

平成20年度 進路別現役合格者数 (延べ数)

	人数	主な進路先
国公立大学	4名	富山3・新潟県立1
私立大学	47名	亜細亜・拓殖・神田外国語・帝京・関西外国語・京都外国語・京都産業・近畿・阪南・明海・岐阜聖徳学園・愛知学院・中京・名古屋商科・日本福祉・名城・富山国際・北陸・金城・金沢学院・金沢星稜・金沢工業 など
国公立短大	4名	秋田公立美術工芸・岐阜市立女子
私立短大	27名	富山・富山福祉・小松・金城大学短期大学部・金沢学院・星稜女子・帝京・中京 など
専門学校	40名	富山県立保育・高岡市立看護・高岡市医師会看護・厚生連高岡看護・富山市外国語・富山県技術・富山理容美容・石川理容美容 など
就職	13名	STプロダクツ(株)・北陸コココーラ(株)・JFEマテリアル(株)・(株)大和・(株)三和製作所・速水発条(株)・高岡消防署 など

部活動報告

Fushiki High School

◇◇◇ 平成21年度 部活動の記録 ◇◇◇

〈陸上部〉

第46回富山県高等学校陸上競技新人対校選手権大会

- 女子やり投げ 第3位 澤井 彩夏(1年)
- 男子円盤投げ 第3位 福島 恭介(2年)
- 男子やり投げ 第5位 杉本 輔(2年)

〈体操部〉

富山県高等学校春季大会体操競技

- 女子個人総合 第1位 西塚明日香(1年)

第4回高岡市民体育大会体操競技高校の部

- 女子個人総合 第1位 西塚明日香(1年)

平成21年度富山県ジュニア体操選手権大会

- 女子A個人総合 第1位 西塚明日香(1年)

富山県高等学校新人大会体操競技

- 女子個人総合 第1位 西塚明日香(1年)
- 第3位 柴田もも子(1年)

〈サッカー部〉

富山県高等学校総合体育大会サッカー競技 第3位

〈美術部〉

第34回富山県青少年美術展 デザイン部門入選 浅井菜都花(1年)
山下利佳子(2年)

〈書道部〉

第8回岐阜女子大学全国書道展 特賞 金枝 志保(3年)
定司 友里(3年)
飯山 祐香(2年)
松村 秀樹(1年)

〈その他〉

第5回高岡市民体育大会水泳競技高校の部
少年B男子50m自由形 第1位 小橋 孝征(1年)
第62回富山県民体育大会
1部少年B男子50m自由形 第1位 小橋 孝征(1年)
第27回全日本中国語スピーチコンテスト富山県大会
朗読の部 第1位 屋敷紗也加(2年)
第2位 土田 美里(2年)
暗唱の部 第1位 安田 琴絵(2年)

INFORMATION

①寄稿の件 本会報に掲載する原稿を募集致します。
(学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話等)皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は1,000字以内でお願いします。

②会報広告の件 会報広告を募ります。皆様方のご協力をお願いします。

③如意ヶ丘グリーン会参加者募集 毎年4月第2土曜日

④学校のホームページと同窓会のメールアドレスです。ご利用下さい。

ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/>

メールアドレス dousoukai@fushiki-h.tym.ed.jp

受付窓口 富山県立伏木高等学校 事務局TEL0766-44-1514 FAX0766-44-1707

編集後記

会報第15号をお届けします。ご承知の通り本校は通常の学校行事のほかに、国際交流活動や地域交流活動にも積極的に取り組んでおります。今号では、学校の活動の様子を知っていただくということで、その中から国際交流活動の内容を少しばかり紹介させていただきました。皆様のご支援やご協力のお陰で、国際交流活動が充実してきております。この場をお借りして、心から感謝申し上げますと共に、母校の発展のため同窓会活動に対する変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。